

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
子どもの保健Ⅱ		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	岡田淑恵(実務経験有)
授業の概要				
<p>本科目は、子どもの保健にかかわる共同学習や実地訓練であり、保育現場で活かせる保健指導を体験学習をとおして学ぶ。 【実務経験】保健師として35年 これまでの母子保健事業を教材として保育に関わる具体的な保健指導等ができるよう指導する</p>				
授業終了時の到達目標				
保育現場で行う保健指導を自信をもって行うことができる				
回	テーマ	内容		
1	感染症予防	「グリッターバグ」を利用して手の汚れと手洗い後の清潔の確認 正しい手洗いの実施 染め出し液を利用して歯みがきの実際と歯みがき指導をするためのブラッシング法を学ぶ		
2	感染症予防	最近流行している感染症とその対策について及び情報収集の仕方について 性感染症とは 性感染症予防のための決まりについてDVDをとおして考える		
3	救急法	AED・心臓マッサージ・人工呼吸の実際		
4	救急法	「熱中症について」自己学習をしそれぞれが収集した資料をもとにグループ別に整理をして発表する		
5~6	保健指導用の教材の作成	グループ別に基本的な生活習慣の中からテーマを選択し教材を工夫・作成する		
7~8	保健指導用の教材の作成と保健指導の実際	作成した教材を使ってグループ毎の発表・保健指導を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所における感染症対策ガイドライン：厚生労働省 ・熱中症マニュアル：環境省・消防庁 		期末試験	100.0%	主体的に意欲をもって授業に参加する 「準備学習」 次回の授業内容を踏まえて資料収集等準備を

回	テ ー マ	内 容	
			んて具料収来寺卒備を する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
乳児保育		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)		担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
3歳未満児の保育についてその概念と意義を理解し、制度と現状を理解する。また3歳未満児の成長発達と発達課題、保育の内容、保育の実践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につける。				
授業終了時の到達目標				
3歳未満児の成長発達その他の知識を習得し、保育の技能を身につけ、保育できるようになる。				
回	テーマ	内容		
1~2	はじめに	乳児の発達と保育について、生命の誕生、新生児		
3~4	乳児の発達と保育①	生後1ヶ月から6ヶ月 ふれあい遊び		
5~6	乳児の発達と保育②	生後6ヶ月から12ヶ月 ふれあい遊び		
7	幼児の発達と保育③	生後1年から1年6ヶ月 ふれあい遊び 生後1年6ヶ月から2年 ふれあい遊び		
8~9	乳幼児の発達	乳幼児の発達(ビデオ鑑賞)…各年齢の発達		
10~11	テスト	小テスト・・・各年齢の発達段階の把握の確認 ふれあい遊び実演		
12~13	調乳、授乳	調乳、授乳の実習 ふれあい遊び		
14~15	沐浴、衣服の着脱、おむつ交換	沐浴、衣服の着脱、おむつ交換の実習 絵本の読み聞かせの復習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
はじめて学ぶ乳児保育(同文書院)		期末試験 授業態度	80.0% 20.0%	【準備学習】 テキストを熟読する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
児童文化		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
<p>児童文化の歴史について学ぶ。そして、児童文化が子どもの世界にどのように影響しているか考察していく。また、未来をになう子ども達が健やかに育つために環境としての文化をどのように設定していくかを考え実践していく。</p> <p>【実務経験】幼稚園教諭として実務経験あり</p>				
授業終了時の到達目標				
保育の現場や日常生活のなかで、子どもの環境としての文化を考え実施できる力を育成する。				
回	テーマ	内容		
1	児童文化について 児童文化財について	児童文化の必要性 子どものつくる児童文化財		
2	スポーツと遊び 伝承遊びとわらべ歌	スポーツと遊び 伝承遊びとわらべ歌		
3	折り紙とぬりえ 読み聞かせ	折り紙とぬりえ 読み聞かせの意義と留意点		
4	絵本と紙芝居	絵本と紙芝居		
5	人形劇 TVと映画アニメ	人形劇について TVと映画アニメ		
6	遊び場と施設 児童文化の組織と活動の概要	遊び場と施設 児童文化の組織と活動の概要		
7	エプロンシアターの製作	製作物の決定 製作の準備		
8	エプロンシアターの製作	エプロンシアターの製作		
9	エプロンシアターの製作	エプロンシアターの製作		
10	エプロンシアターの製作	エプロンシアターの製作		
11	エプロンシアターの製作	エプロンシアターの製作		
12	エプロンシアターの製作	エプロンシアターの製作		
13	エプロンシアターの製作	エプロンシアターの製作		
14	エプロンシアターの製作	エプロンシアターの製作		
15	エプロンシアターの製作 発表	エプロンシアターの製作 練習 発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
エプロンシアターの本		出席率 授業態度 実習・実技評価	20.0% 40.0% 40.0%	【準備学習】 前回の授業内で ノート提出ができ なかった人は、 ノートを完成させ て提出する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
言葉Ⅱ		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
保育者としてどのように子どもの言葉の育ちを支えるか、理論的な知識に裏打ちされた実践力を養う。 【実務経験】幼稚園教諭として実務経験あり				
授業終了時の到達目標				
①言葉(言語)の発達に関する理論を理解する。 ②言葉の発達における、子どもを取り巻く環境の影響について検討する。特に「コミュニケーション」に着目し、その理論を理解する。 ③保育所保育指針「領域言葉」を理解する。 ④子どもの言葉をはぐくむ保育者の関わり方について検討し、理解を深める。				
回	テーマ	内容		
1	「ことば」指導の意義と目標	子どもの感性とことばの指導 ことばの獲得によって何がもたらされるか 「ことば」指導の目標		
2	「ことば」指導のための基礎的な知識	ことばの発達と言語環境の質 ことばの発達基盤		
3	「ことば」指導のための基礎的な知識	ことばの発達過程と保育者のことばかけ 文字習得の基盤		
4	保育者のことばと態度	集団保育における保育者の言語的応答性 保育者の話し方 保育者の聞き方		
5	ことばに障害を持つ子どもへの配慮	ことばの発達と就学前の時期の重要性 ことばに問題を持つ子どもへの基本的態度		
6	ことばに障害を持つ子どもへの配慮	配慮を必要とする子どもへの留意点		
7	「ことば」指導のための資料	絵本の役割と「読み聞かせ」の意味 すぐれた絵本と絵のあり方		
8	「ことば」指導のための資料 まとめ	集団への読み聞かせ 絵本の分類とその他の言語資料 まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
言葉Ⅱ(近畿大学九州短期大学)		試験 授業態度	80.0% 20.0%	【準備学習】 前回の授業内で ノート提出ができ なかった人は、 ノートを完成させ て提出する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
図画工作Ⅱ		こども福祉教育学科/3年	2019/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
<p>幼児の造形教育に携わる教育者・保育者にとって必要とされる造形に関する表現技術を実習を通じて習得する。 【実務経験】幼稚園教諭として実務経験あり</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>幼児の造形活動に対して適切で充実した援助と造形教育をおこなえる基本的技術を習得する。</p>				
回	テーマ	内容		
1~2	はじめに 課題作品①	近畿大学九州短期大学の課題作成		
3~4	課題作品②-1	近畿大学九州短期大学の課題作成		
5~6	課題作品②-2	近畿大学九州短期大学の課題作成		
7~8	課題作品②-2	近畿大学九州短期大学の課題作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
図画工作Ⅱ(近畿大学九州短期大学)		出席率 授業態度 実習・実技評価	20.0% 40.0% 40.0%	【準備学習】 前回の授業内で課題提出ができなかった人は、課題を完成させて提出する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育実習事前事後指導Ⅱ		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	4回	1単位(8時間)	選択	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
保育実習を円滑におこなう為に必要な事柄を学習する。保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に望む心構えを作るとともに 実習に必要な知識を習得する。				
授業終了時の到達目標				
保育実習の重要性を理解し、実習を実施する為に必要な知識と心構えを習得する。 実習書類等の作成。				
回	テーマ	内容		
1	はじめに	保育実習の意義・目的・内容について 実習施設の種別・内容の理解・各実習先についての諸注意		
2	心構えと注意事項	保育実習実施に当たっての心構え・注意事項		
3	オリエンテーションについて 実習前準備	オリエンテーション書類作成 実習日誌事前記入、実習準備		
4	オリエンテーション	実習先訪問 オリエンテーション		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
保育実習事前事後指導(近畿大学九州短期大学) 新訂しりたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド (同文書院)		授業態度 出席率	80.0% 20.0%	【準備学習】 実習先のパンフレット、HPなどを熟読する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育実習事前事後指導Ⅲ		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	4回	1単位(8時間)	選択	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
保育実習を円滑におこなう為に必要な事柄を学習する。保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に望む心構えを作るとともに 実習に必要な知識を習得する。				
授業終了時の到達目標				
保育実習の重要性を理解し、実習を実施する為に必要な知識と心構えを習得する。 実習書類等の作成。				
回	テーマ	内容		
1	はじめに	保育実習の意義・目的・内容について 実習施設の種別・内容の理解・各実習先についての諸注意		
2	心構えと注意事項	保育実習実施に当たっての心構え・注意事項		
3	オリエンテーションについて 実習前準備	オリエンテーション書類作成 実習日誌事前記入、実習準備 事前学習のプリント		
4	オリエンテーション	実習先訪問 オリエンテーション		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
保育実習事前事後指導(近畿大学九州短期大学) 新訂しりたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド (同文書院)		授業態度 出席率	80.0% 20.0%	【準備学習】 実習先のパンフレット、HPなどを熟読する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育・教職実践演習		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
履修した全教科の中で、特に課題意識を抱いた事柄について、研究を行い、学習を深め、より専門的知識の習得を行なう。				
【実務経験】幼稚園教諭として実務経験あり				
授業終了時の到達目標				
研究テーマについて、十分に研究や調査を行い、そのことについて理解を深める。				
回	テーマ	内容		
1	はじめに	専門分野別に研究テーマを決定する。 研究内容を具体的にし、計画表を作成する		
2	研究、調査	各グループごとに、研究、調査を行なう。		
3	研究、調査結果のまとめ	研究、調査内容をまとめる。		
4	原稿・パワーポイントの作成	発表原稿、パワーポイントの作成。		
5	原稿・パワーポイントの作成	発表原稿、パワーポイントの作成。		
6	原稿・パワーポイントの作成	発表原稿、パワーポイントの作成。		
7	原稿・パワーポイントの作成	発表原稿、パワーポイントの作成。		
8~9	原稿・パワーポイントの作成	発表原稿、パワーポイントの作成。		
10~11	リハーサル リハーサル後の手直し	リハーサル リハーサル後の手直しをする。		
12~13	配布資料の印刷 リハーサル、打ち合わせ	配布資料の印刷 リハーサル、打ち合わせ		
14~15	卒論発表会	全学年の前で発表する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
総合演習 ガイドブック(近畿大学九州短期大学)		授業態度 課題・レポート	50.0% 50.0%	【準備学習】 参考文献などを熟読する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育実習 I (施設)		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
8時間	10日間	2単位 (80時間)	必須	桑田 由美 (実務経験有)
授業の概要				
<p>「保育実習 I」は、保育士資格を取得するために児童福祉施設で行う実習である。「保育所以外の施設」で実習を行う。</p> <p>10 日間の実習で、次の内容を体験的に学ぶ。①施設における1 日の流れ ②子どもへの理解を深める ③保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ④養護の技術や記録方法について実践的に学ぶ ⑤保育士を志すものとして自覚を高める</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育現場で保育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるが理解することができる。 ・ 実践を通じて、養護の技術、能力を向上させる。 ・ 自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。 				
回	テーマ	内 容		
1	1. 施設の内容、機能などを理解する。	1 日の流れ、子どもの活動など		
2	2. 保育士の職務内容および役割、また他の職員とのチームワークなどの理解	実践的に学ぶ		
3	3. 子どもを取り巻く社会や家族の問題について理解する。	担当保育者の指導や助言より学ぶ		
4	4. 養護の技術を学ぶ	担当保育者の指導や助言に従い、積極的に保育実習に参加すること。		
5	5. 日誌の書き方を学ぶ。	1 日を振り返り考察し学びを深める。		
6	参加実習	実践的保育		
7	参加実習	実践的保育		
8	参加実習	実践的保育		
9	参加実習	実践的保育		
10	参加実習	実践的保育		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
新訂しりたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド (同文書院)		実習・実技評価 実習日誌、態度など	80.0% 20.0%	主体的に積極的な姿勢で実習に取り組む。 【準備学習】 実習ガイドテキストを熟読する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育実習Ⅱ		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
8時間	10日間	2単位(80時間)	必須	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
<p>これまで学習してきた理論を基礎として、保育現場において生きた保育技術を学び、人間性豊かな保育士を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 ・子どもの観察やかかわりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 ・既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。 ・保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。 ・保育士としての自己の課題を明確化する。 				
授業終了時の到達目標				
保育士の業務内容、子どもの理解及び保育の理解を深める。保育技術をより習得する。保育の計画、実践、記録の理解を深める。				
回	テーマ	内 容		
1	参加実習	1. 保育所の役割や機能の具体的展開 ・養護と教育が一体となって行われる保育 ・保育所の社会的役割と責任		
2	参加実習	2. 観察に基づく保育理解 ・子どもの心身の状態や活動の観察 ・保育士等の動きや実践の観察 ・保育所の生活の流れや展開の把握		
3	参加実習	3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 ・環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行なう保育の理解 ・入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援 ・地域社会との連携		
4	参加実習	4. 指導計画の作成、実践、観察、記録、評価 ・保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の課程の理解 ・作成した指導計画に基づく保育実践と評価		
5	参加実習および部分実習	5. 保育士の業務と職業倫理 ・多様な保育の展開と保育士の業務 ・多様な保育の展開と保育士の職業倫理		
6	参加実習	6. 自己の課題の明確化		
7	参加実習	実践的保育		
8	参加実習	実践的保育		
9	参加実習	実践的保育		
10	参加実習および全日実習	実践的保育		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「はやわかりBOOK 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(学陽書房) 「0～5歳児 年齢別 実習完全サポート 実習の記録と指導案」(ひかりのくに) こどものうた200(チャイルド本社)など		実習・実技評価 実習日誌、態度など	80.0% 20.0%	主体的に積極的な姿勢で実習に取り組む。 【準備学習】 保育所保育指針を読む。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育実習Ⅲ		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
8時間	10日間	2単位(80時間)	必須	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
<p>これまで学習してきた理論を基礎として、福祉施設において生きた養護を学び、人間性豊かな保育士を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設等の役割や機能について実践を通して、理解を深める。 ・家庭と地域の生活実態に触れて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解を基に、保護者支援、家庭支援の為の知識、技術、判断力を養う。 ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。 ・保育士としての自己の課題を明確化する。 				
授業終了時の到達目標				
保育士の仕事、子どもとの接し方、養護技術を習得する。実習日誌を作成する。				
回	テーマ	内容		
1	観察実習	1, 児童福祉施設等の役割と機能		
2	参加実習	2, 施設における支援の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・受容し、共感する態度 ・個人差や生活環境に伴う子どものニーズの把握と子ども理解 ・個別支援計画の作成と実践 ・子どもの家庭への支援と対応 ・多様な専門職との連携 ・地域社会との連携 		
3	参加実習	3, 保育士の多様な業務と職業倫理		
4	参加実習	4, 保育士としての自己課題の明確化		
5	参加実習	実践的保育		
6	参加実習	実践的保育		
7	参加実習	実践的保育		
8	参加実習	実践的保育		
9	参加実習	実践的保育		
10	参加実習	実践的保育		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
新訂しりたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド (同文書院)		実習・実技評価 実習日誌、態度など	80.0% 20.0%	主体的に積極的な 姿勢で実習に取り組む。 【準備学習】 実習ガイドテキスト を熟読する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
教育実習②		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
8時間	10日間	2単位(80時間)	必須	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
<p>これまで学習してきた理論を基礎として、教育現場において生きた教育技術を学び、人間性豊かな教師を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 ・子どもの観察やかかわりの視点を明確にすることを通して教育の理解を深める。 ・既習の教科や教育実習②の経験を踏まえ、子どもの教育について総合的に学ぶ。 ・教育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 ・教諭の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。 ・教諭としての自己の課題を明確化する。 <p>【実務経験】幼稚園教諭として実務経験あり</p>				
授業終了時の到達目標				
教諭の業務内容、子どもの理解及び教育の理解を深める。教育技術をより習得する。教育の計画、実践、記録の理解を深める。				
回	テーマ	内 容		
1～8	参加実習	1. 幼稚園の役割と機能 ・幼稚園の生活と一日の流れ ・幼稚園教育要領の理解と教育課程の展開		
9～16	参加実習	2. 子ども理解 ・子どもの観察とその記録による理解 ・子どもの発達過程の理解 ・子どもへの援助やかかわり		
17～24	参加実習	3. 教育内容・教育環境 ・教育課程の計画に基づく教育内容 ・子どもの発達過程に応じた教育内容 ・子どもの生活や遊びと教育環境 ・子どもの健康と安全		
25～32	参加実習	4. 教育の計画、観察、記録 ・教育課程と指導計画の理解と活用 ・記録に基づく省察・自己評価		
33～39	参加実習および部分実習	5. 専門職としての教諭の役割と業務倫理 ・教諭の業務内容 ・職員間の役割分担や連携 ・教諭の役割と職業倫理		
40～48	参加実習	実践的幼児教育		
49～56	参加実習	実践的幼児教育		
57～64	参加実習および部分実習	実践的幼児教育		
65～72	参加実習	実践的幼児教育		
73～80	全日実習	実践的幼児教育		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「はやわかりBOOK 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(学陽書房) 「0～5歳児 年齢別 実習完全サポート 実習の記録と指導案」(ひかりのくに) こどものうた200(チャイルド本社)など		実習・実技評価 実習日誌、態度など	80.0% 20.0%	主体的に積極的な姿勢で実習に取り組む。 【準備学習】 幼稚園教育要領を読む。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
音楽表現Ⅱ		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	中島 弘恵(実務経験有)
授業の概要				
<p>・幼児音楽にたずさわる保育者の、音楽技術の習得や資質の向上を目指す。</p> <p>①楽譜の読譜力 ②リズム感 ③合奏 ④楽譜(音楽の決まりごとを習得する)</p> <p>【実務経験】教育現場での音楽指導経験有</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>1年次の音楽表現(スクーリング)に引き続き保育活動における音楽の役割を理解し、幼児教育に必要な楽器を使っての音楽表現の基礎知識及び指導・援助に関する知識・技術を習得する 音・音楽・楽器・楽譜による表現を主として、様々な角度から音楽表現について考えます。</p>				
回	テーマ	内容		
1	導入	学生個々の演奏力を掌握したうえで本授業の目標を明確にし、到達点を意識する グループ決め		
2~6	合奏の指導方法を考える 保育現場で使う楽器の特徴	楽器の演奏法 年齢・ねらいに応じて打楽器のリズムを各自で作り、子どもの合奏活動への意欲が高まるようリズム言葉を使い工夫する 子どもの興味・意欲・想像力を高める楽譜を製作する 製作した楽譜を使用して合奏指導の練習		
7	リハーサル	発表へ向けてのリハーサル		
8	音楽発表会	それぞれグループに分かれ、年齢にあった曲を創作し演奏発表をする。 (それぞれの実践・発表を通じて意見を出し合い、知識・技術・意欲を高めることをねらいとする。)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント こどものうた 200 続・こどものうた 200		授業の最後に発表 授業態度	90.0% 10.0%	授業は欠課することなく参加すること。皆と協力し発表会を成功させること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ピアノ実習		こども福祉教育学科/3年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	中島 弘恵(実務経験有) 日野 みどり(実務経験有)
授業の概要				
<p>幼稚園や保育所での子ども達の生活は、音楽を中心として活動が展開されています。 音楽Ⅰ(1年次)の授業に引き続き幼児教育にたずさわる保育者の、音楽技術(ピアノ)の習得や資質の向上を目指し学習します。</p> <p>【実務経験】中島弘恵: 音楽教室でピアノ講師としての実務経験</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>音が苦しい「音が苦」では子どもが喜びません。ピアノを弾きながら楽しく歌えるよう技術の向上を目指します。 保育士資格・幼稚園教諭免許の取得</p> <p>採用試験受験レベル(バイエル・ブルグミュラー・ソナチネアルバム・ソナタアルバムレベル)の技術の習得 採用試験課題曲(弾き歌い)</p> <p>卒業演奏会の発表</p> <p>【実務経験】中島弘恵: 音楽教室でピアノ講師としての実務経験 日野みどり: 音楽教室でピアノ講師としての実務経験</p>				
回	テーマ	内容		
1~3	採用試験課題曲(弾き歌い) 自由曲(採用試験曲用)	こどものうたより 学生個々の演奏力、音楽経験に即した演習 ピアノ教則本(バイエル・ブルグミュラー・ソナチネアルバム・ソナタアルバム)の練習・復習 採用試験課題曲(弾き歌い)の練習・暗譜		
4~6	自由曲(採用試験曲用)試験対策 採用試験課題曲(弾き歌い)試験対策	ピアノ教則本(バイエル・ブルグミュラー・ソナチネアルバム・ソナタアルバム)のリハーサル 採用試験課題曲(弾き歌い)のリハーサル		
7	ピアノ試験	ピアノ教則本(バイエル・ブルグミュラー・ソナチネアルバム・ソナタアルバム)の実技試験 採用試験課題曲(弾き歌い)の実技試験		
9~12	卒業演奏会への取り組み	卒業演奏会でピアノ演奏する曲決め 演奏したい曲の楽譜を探す・譜読み・練習		
13	卒業演奏会への取り組み	全体通し プログラム(演奏する順番)の決定		
14	卒業演奏会への取り組み	リハーサル		
15	卒業演奏会	公開演奏会(試験) 他学生の演奏を鑑賞する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
近畿大学九州短期大学指定 「音楽Ⅰ(ピアノ教本)」 ブルグミュラー ソナチネアルバム ソナタアルバム こどものうた200 プリント等		実習・実技評価	100.0%	授業までに出された課題曲を練習してこること。 採用試験・卒業演奏会に向けて真剣に取り組むこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育演習Ⅰ		こども福祉教育学科/3年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	50回	6単位(100時間)	必須	中島 弘恵(実務経験有) 日野 みどり(実務経験有)
授業の概要				
<p>ピアノの授業に引き続き、幼児教育にあたるための音楽の総合力及び音楽的な保育の能力を追究 リトミックのための伴奏法 オペレッタ 合奏演奏 保育現場で役立つ教材研究を行う。 保育園や幼稚園で必要な保育者としての知識や実践的技術の習得を目指す。</p> <p>【実務経験】中島弘恵：教育現場での音楽指導実務経験有り 日野みどり：教育現場での音楽指導実務経験有り</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>幼児音楽・障害児教育など多くの分野で重要とされている身体表現・リトミック教育の意義、指導上のポイントの習得 音楽Ⅰ・Ⅱ、ピアノ実習 声楽の集大成としてのオペレッタ発表 合奏演奏 教材について理解を深める。 保育園や幼稚園で必要な保育者としての知識や実践的技術の習得。</p>				
回	テーマ	内容		
1	オペレッタ	オペレッタについて知る オペレッタ グループ決め 教材研究(オリジナルオペレッタ台本作成)		
2	オペレッタ	練習		
3	オペレッタ	オペレッタ準備(製作物・衣装等)とピアノ伴奏・独唱・セリフの練習		
4	オペレッタ	オペレッタ準備と練習		
5	オペレッタ	オペレッタ グループ決め 教材研究(オリジナルオペレッタ台本作成)		
6	オペレッタ	オペレッタ準備と練習		
7	オペレッタ	オペレッタ準備(製作物・衣装等)とピアノ伴奏・独唱・セリフの練習 オペレッタ通し練習		
8	オペレッタ	オペレッタ準備と練習		
9	オペレッタ	オペレッタ準備と練習		
10	オペレッタ	オペレッタ準備と練習		
11	オペレッタ	オペレッタ準備と練習		
12	オペレッタ	オペレッタ準備		
13	オペレッタ	オペレッタ準備		
14	オペレッタ	オペレッタ準備		
15	オペレッタ	オペレッタ準備と練習		

回	テ ー マ	内 容
16	オペレッタ	オペレッタ準備と練習
17	オペレッタ	オペレッタ準備と練習
18	オペレッタ	オペレッタ準備
19	オペレッタ	オペレッタ準備
20	オペレッタ	オペレッタ準備(製作物・衣装等)とピアノ伴奏・独唱・セリフの練習 オペレッタ通し練習 暗譜
21	オペレッタ	オペレッタ準備と練習
22	オペレッタ	オペレッタ準備と練習
23	オペレッタ	オペレッタ準備と練習
24	オペレッタ	オペレッタ準備
25	オペレッタ	オペレッタ準備
26	オペレッタ	オペレッタ準備
27	合奏(ピアノを取り入れる)	合奏曲決め 担当楽器決め
28	合奏(ピアノを取り入れる)	パート練習
29	合奏(ピアノを取り入れる)	パート練習
30	合奏(ピアノを取り入れる)	パート練習
31	合奏(ピアノを取り入れる)	パート練習 合奏
32	合奏(ピアノを取り入れる)	パート練習 合奏
33	合奏(ピアノを取り入れる)	パート練習
34	合奏(ピアノを取り入れる)	パート練習
35	合奏(ピアノを取り入れる)	合奏
36	合奏(ピアノを取り入れる)	合奏
37	オペレッタ・合奏(ピアノを取り入れる)	練習
38	オペレッタ・合奏	オペレッタ ピアノを取り入れた合奏の通し練習 プログラム決め
39	オペレッタ・合奏	オペレッタ準備と練習：リハーサル

回	テ ー マ	内 容		
40	オペレッタ・合奏	オペレッタ準備と練習：リハーサル		
41	オペレッタ・合奏	オペレッタ準備と練習：ミニコンサートリハーサル プログラム修正 それぞれグループに分かれ、年令にあった曲を創作し演奏発表をする。 (それぞれの実践・発表を通じて意見を出し合い、知識・技術・意欲を高めることをねらいとする。)		
42	オペレッタ・合奏 プログラム製作	練習 製作		
43	オペレッタ・合奏	練習		
44	オペレッタ・合奏	練習		
45	オペレッタ・合奏	オペレッタ準備と練習：リハーサル		
46	オペレッタ・合奏	オペレッタ準備と練習：リハーサル		
47	オペレッタ・合奏	オペレッタ準備と練習：ミニコンサートリハーサル それぞれグループに分かれ、年令にあった曲を創作し演奏発表をする。 (それぞれの実践・発表を通じて意見を出し合い、知識・技術・意欲を高めることをねらいとする。)		
48	卒業演奏会(会場準備)	会場作り		
49	卒業演奏会(実技試験・公開発表)	オペレッタ(ピアノ伴奏は全員が担当) ・合奏コンサート		
50	卒業演奏会(実技試験・公開発表)	オペレッタ(ピアノ伴奏は全員が担当) ・合奏コンサート		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント		実習・実技評価	100.0%	授業は欠課することなく参加すること。皆と協力し卒業演奏会を成功させること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育演習Ⅱ		こども福祉教育学科/3年	2019/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	横溝 美佳(実務経験有)
授業の概要				
本科目は、保育現場で役立つ教材研究を行う。また、保育園や幼稚園に必要な保育者としての知識や実践的技術の習得をする。				
授業終了時の到達目標				
1. 廃材、教材について理解をする。 2. 様々なアイデアを出せる。 3. 保育グッズを製作し、現場で実践できる。				
回	テーマ	内容		
1~2	保育グッズ	手袋シアターを作る		
3~4	保育グッズ	手袋シアターを作る		
5~6	保育グッズ	ペープサート パネルシアター 手袋シアター 3つの中から選んで保育グッズを作る		
7~8	保育グッズ	ペープサート パネルシアター 手袋シアター 3つの中から選んで保育グッズを作る		
9~10	はりこ	はりこのお面を作る		
11~12	はりこ 誕生日壁面(共同製作)	はりこのお面を作る 誕生日壁面の製作		
13~14	誕生日壁面(共同製作)	誕生日壁面の製作		
15~16	廃材を使った製作	お店屋さんごっこのグッズ製作		
17~18	廃材を使った製作	お店屋さんごっこのグッズ製作		
19~20	廃材を使った製作	お店屋さんごっこのグッズ製作		
21~22	実習室展示用作品(共同製作)	作品の製作		
23~24	実習室展示用作品(共同製作)	作品の製作		
25~26	実習室展示用作品(共同製作)	作品の製作		
27~28	実習室展示用作品(共同製作)	作品の製作		
29~30	実習室展示用作品(共同製作)	作品の製作 作品を飾る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		作品	100.0%	・主体的に教材研究を行うこと。 ・共同制作はアイデア

回	テ ー マ	内 容	
			を出し合い、協力して行 なうこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
こども環境管理士		こども福祉教育学科/3年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	23回	3単位(45時間)	必須	桑田 由美(実務経験有)
授業の概要				
幼児を取り巻く自然環境などについて学び、こども環境管理士検定対策の勉強をする。				
【実務経験】幼稚園教諭として実務経験あり				
授業終了時の到達目標				
幼児を取り巻く自然環境などについて学び、こども環境管理士検定の合格を目指す。				
回	テーマ	内容		
1~2	こども環境管理士検定とは 自然環境に関する基礎知識①	自然のしくみ 私たちの生活や社会と自然とのつながり		
3~4	自然環境に関する基礎知識②	環境問題の原因や現状とその対策 環境問題の解決に向けた社会の動向(法律や条約、時事問題)		
5~6	自然体験・生活体験を充実させる環境づくり①	環境の時代にふさわしい生活のあり方		
7~8	自然体験・生活体験を充実させる環境づくり②	子どもが自然と触れ合うことの大切さ 身近な生き物に対する認識、自然の中の危険に対する認識		
9~10	自然体験・生活体験を充実させる環境づくり③	日常的な自然体験の為の空間づくりに関する基本的な考え方		
11~12	受験対策	過去問題		
13~14	受験対策	過去問題		
15~16	受験対策	過去問題		
17~18	受験対策	過去問題		
19~20	受験対策	過去問題		
21~22	受験対策	過去問題		
23	検定受検	検定受検		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント、冊子		期末試験 授業態度	60.0% 40.0%	【準備学習】 過去問題を納得するまで復習する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
幼児体育指導者検定		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	検定協会派遣講師
授業の概要				
幼児体育指導者検定の受検、対策。				
授業終了時の到達目標				
幼児対象の体育指導者検定に合格をする。				
回	テーマ	内容		
1~2	理論講習	発育発達、幼児体育論、ボール遊び		
3~4	実技講習	リズム体操、マット、縄跳び、跳び箱		
5	理論試験	理論試験		
6	実技講習	ボール、ゲーム遊び		
7	実技試験 合格発表	マット、縄跳び、跳び箱		
8	追試験対策・追試験	マット、縄跳び、跳び箱		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
幼児体育指導者検定テキスト		検定試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
PC実習(文書作成)		こども福祉教育学科/3年	2019/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	甲斐 滋美
授業の概要				
Wordを使って文書作成の基本および応用までの操作技術を学ぶ 機能をすべて網羅し、検定合格だけでなく実務にも使える技術を習得する 集合実習のため、コースを超えての授業 協調性や社会性を同時に育成する				
授業終了時の到達目標				
MOS Word 2016の合格				
実務技能				
回	テーマ	内容		
1	動機づけ Wordの基本 入力と文書作成	資格取得のメリットの説明 評価方法の説明 機能の説明		
2	Wordの基本 文字・段落・ページの書式 様々な保存方法	文字・行・段落・セクション・ページに対する書式設定の説明 保存形式の説明 Word文書・txtファイル等		
3	文章の作成と管理1-1	新しい文書を作成する テンプレートを使用して新しい文書を作成する ファイルをインポートする Wordで外部データを直接開く WordでPDFファイルを開き編集する		
4	文章の作成と管理1-2	文書内の文字列を検索する ハイパーリンクを挿入する ブックマークを作成する ジャンプ機能を使用する		
5	文章の作成と管理1-3	ページ設定を変更する 文書のテーマを変更する 文書のスタイルセットを変更する ヘッダーやフッターを挿入する 透かしを挿入する ページ番号を挿入する		
6	文章の作成と管理1-4	文書の表示を変更する ズームを使用する クイックアクセスツールバーをカスタマイズする リボンをカスタマイズする ウィンドウを分割する 文書のプロパティに値を追加する 編集記号の表示/非表示を使用する 簡単なマクロを記録する ショートカットキーを割り当てる マクロのセキュリティを管理する		
7	文章の作成と管理1-5	印刷する文書を設定する 別のファイル形式で文書を保存する 文書のセクションを印刷する 利用しているコンピュータ以外の場所にファイルを保存する パスワードを設定して文書を保護する 縮小拡大印刷を設定する 以前のバージョンとの互換性を保つ		
8	文字、段落、セクションの書式設定 2-1	文書に文字列を追加する 文字列を検索する・置換する 文字列をコピーする・貼り付ける オートコレクトを使用して文字列を挿入する 空白の段落を削除する 組み込みもフィールドを挿入する 特殊文字を挿入する		
9	文字、段落、セクションの書式設定 2-2	フォントの属性を変更する 検索と置換を使用して文字列の書式を設定する 書式のコピー/貼り付けを使用する 段落の間隔を設定する 行間を設定する 既存の書式をクリアする インデントを設定する 選択した文字列を強調表示する 文字列にスタイルを適用する 文字列をワードアートに変更する 既存のスタイルの属性を変更する		

回	テーマ	内容		
10	文字、段落、セクションの書式設定 2-3	1行残して段落が区切られないようにする 区切りを挿入してセクションを作成する セクション内に段組みを作成する 内容(概要)を整理するために見出しを使用する ページ区切りを追加する		
11	表やリストの作成3-1	文字列を表に変換する 表を文字列に変換する 表のサイズを定義する 自動調整のオプションを設定する クイック表作成を使用する 表にタイトル行や列見出しを設定する		
12	表やリストの作成3-2	表にスタイルを適用する 表内のフォントを変更する 表内のデータを並べ替える セルの余白を設定する 計算式を使用する 表のサイズを変更する セルを結合する		
13	表やリストの作成3-3	段落番号や箇条書きを追加する 新しい行頭文字を作成する リストのインデントを変更する 行間を変更する リストのレベルを変更する 段落番号を変更する		
14	参考資料の適用4-1	文末脚注を挿入する 脚注の挿入場所を管理する 文末脚注の書式を設定する 脚注の番号書式を変更する 引用文献のプレースホルダーを挿入する 引用文献を挿入する 文献目録を挿入する 引用文献のスタイルを変更する		
15	参考資料の適用4-2	図表番号を追加する 図表番号の位置を設定する 図表番号の書式を変更する 図表番号のラベルを変更する 図表番号からラベルを除外する		
16	オブジェクトの挿入と書式設定5-1	クイックパーツを挿入する テキストボックスを挿入する 文書パーツオーガナイザーを使用する 文書パーツをカスタマイズする		
17	オブジェクトの挿入と書式設定5-2	標準の図形を挿入する SmartArtを挿入する SmartArtのプロパティを変更する 図形の周囲の文字列を折り返す 図形を配置する		
18	オブジェクトの挿入と書式設定5-3	画像を挿入する アート効果を適用する 図の効果を適用する 画像のプロパティを変更する 画像にクイックスタイルを適用する 画像の周囲の文字列を折り返す 画像を配置する		
19	各自で復習	出題範囲の復習		
20	各自で復習	出題範囲の復習		
21	模擬試験①	確認テスト		
22	模擬試験②	確認テスト		
23	模擬試験③	確認テスト		
24	模擬試験④	確認テスト		
25	模擬試験⑤	確認テスト		
26	検定試験 (MOS検定)	到達に応じて検定受験		
27	検定試験 (MOS検定)	到達に応じて検定受験		
28	検定試験 (MOS検定)	到達に応じて検定受験		
29	検定試験 (MOS検定)	到達に応じて検定受験		
30	Word応用	実務で使うビジネス文書の作成		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	よくわかるMOS Word12016テキスト (FOM出版) MOS対策テキスト Word12016 (日経BP)	期末試験 出席率 授業態度	60.0% 20.0% 20.0%	期末試験はMOS検定 試験

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネス文書 I		こども福祉教育学科/3年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	甲斐 滋美
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス実務に役立つ文書作成技能について、知識と技能の基本を身につけ、普通の文書を正しく理解し、作成できるようにする。 ・ビジネス文書実務検定3級合格レベルの知識を身につける。 <ul style="list-style-type: none"> (1)表記技能 ①用字・用語(漢字) ②書式(社内文書・社外文書レイアウト) (2)表現技能 ①正確・分かりやすい文書(日本語力) ②礼儀正しい文書(手紙用語) (3)実務技能 ①社内文書/社外文書の書き方 ②文書の取り扱い(郵便知識) 他 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・実務技能検定協会主催 ビジネス文書技能検定試験 3級 合格 (上司の指示により、普通の無事ネス文書を作成することができるレベル) 				
回	テーマ	内容		
1	導入 ビジネス文書が果たす重要な役割	<ul style="list-style-type: none"> ・検定目的・運営・評価の説明、ビジネス文書の必要性 ・ビジネス文書の種類、レイアウト、社内文書の特徴 		
2	頭語結語について 時候のあいさつ言葉	<ul style="list-style-type: none"> 社外文書・社内文書のレイアウト確認テスト ・頭語・結語・敬称プリント ・時候のあいさつ漢字プリント 		
3	一般用語(前文漢字・都道府県の漢字など)	<ul style="list-style-type: none"> 敬称・頭語・結語確認テスト、時候のあいさつ漢字テスト ・前文プリント ・都道府県漢字 		
4	漢字と仮名について(プリント) 同音異義語漢字テスト①	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の使い分け 都道府県・県庁所在地 漢字確認テスト、同音異義語 		
5	文章並び替え問題(プリント) 同音異義語漢字テスト②	<ul style="list-style-type: none"> ・並び替えの際のポイント 漢字学習とテスト 		
6	敬語(プリント) 同音異義語漢字テスト③	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語プリントにて学習、漢字学習とテスト、※課題として問題集 		
7	社内文書の作り方(プリント) 漢字テスト④	<ul style="list-style-type: none"> ・社内文書の作り方について 同音異義語を学習し次回テスト行う 		
8	社外文書の作り方(プリント) 漢字テスト⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・社外文書の作り方について 漢字テスト、同訓異義語(送り仮名など) 		
9	過去問 漢字テスト⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフのキーワード 実問題集を使用し実践 		
10	過去問 漢字テスト⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便知識 過去問に慣れ、まずは最後までこなせるようになる。 		
11	過去問 漢字テスト⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙の大きさ ・印刷物の構成 過去問をやることにより、ビジネス文書の理解を深めていく。 		
12	過去問 漢字テスト⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・受発信事務 ・「秘」扱い文書の取り扱い 過去問をやることにより、ビジネス文書の理解を深めていく。 		
13	模擬テスト	<ul style="list-style-type: none"> 検定の問題に慣れ、考えて、問題を最後まで解くことができるようになる。 		
14	模擬テスト	<ul style="list-style-type: none"> 検定の問題に慣れ、考えて、問題を最後まで解くことができるようになる。 		
15	模擬テスト 敬語について	<ul style="list-style-type: none"> 検定対策 問題点を確認する 直前ポイントの周知 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田教育出版 「ビジネス文書検定 受験ガイド 3級」 「ビジネス文書検定 実問題集」 		<ul style="list-style-type: none"> 検定 課題・ミニテスト 出席 態度・取組 	<ul style="list-style-type: none"> 50% 30% 10% 10% 	<ul style="list-style-type: none"> 別教材より敬語・漢字など資料作成

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
一般常識Ⅱ		こども福祉教育学科/3年	2019/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	10回	1単位(20時間)	必須	西岡 浩一
授業の概要				
採用試験対策として一般常識の問題を解く。				
授業終了時の到達目標				
採用試験に合格できる学力を身につける。				
回	テーマ	内容		
1	漢字	・漢字の読み ・書き問題		
2	数学(数と式)	・計算問題 ・因数分解		
3	ことわざ	・ことわざ ・故事成語		
4	地理	・日本地理 ・世界地理		
5	数学(図形)	・面積、角度 ・相似		
6	社会(福祉)	・社会保障 ・少子高齢化		
7	国語(常識問題)	・慣用表現 ・敬語		
8	英語	・ことわざ ・熟語		
9	社会(常識問題)	・法規、マーク		
10	まとめ、試験	・一般常識のまとめ ・筆記試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリントを配布		期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	【準備学習】 しっかり復習をする。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座		こども福祉教育学科/3年	2019/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	横溝 美佳(実務経験有)
授業の概要				
本科目は、就職活動に向けて就職先の選出及び、対策を行う。また、社会人として必要な事柄を習得する。				
授業終了時の到達目標				
1. 就職先内定。 2. 社会人として必要な知識を習得できる。				
回	テーマ	内容		
1	はじめに	就職について考える 就職先選出		
2	就職活動	採用試験に向けて対策		
3	就職活動	採用試験に向けて対策		
4	就職活動	採用試験に向けて対策		
5	社会人としての自覚・心構え	働くとは 学生と社会人の違い		
6	ビジネスマナー	電話対応 名刺交換		
7	ビジネスマナー	来客対応		
8	ビジネスマナー	保育士として働くうえで大切なこと		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		授業態度	100.0%	・主体的に授業、 演習に参加すること。